

室内サーキット

外海まどか保育園 3・4・5歳児

ねらい

- 友達と共通のことに取り組み、共に活動することを楽しむ。
- 遊びの中でイメージや意見を出しあい、友達の良さを受け入れながら遊びを展開する。

<準備運動>

- ・体をほぐすために、クラス別に全身を使った遊びを行った。



<スタートダッシュ>



<ほふく前進>



<背中ではう>

<サーキット遊び>

環境構成

積み木(2)ベンチ(2)かご(4)変形ボール(2)なわとび(3)

- ・用具を一斉に出さず、数回に分け室内に設置していった。

<積み木わたり>

～形が違う積み木を並べていく～



こうしてみようかな
(登り降り)

- ・他にいい方法がないか尋ね発表させる。
下の方法が出る。



・走る



・跳ぶ



・渡る

<ベンチを加えて遊ぼう>

- ・積み木渡りの要領を得た頃に2台のベンチを縦と横配置する。



橋みたい



跳び箱みたい

良い方法があるよ!

<さらにボールとなわを加えて遊ぼう>

- ・手前からボールの入ったかご
- ・何も入っていないかご
- ・なわを並べる。



くぐり抜ければ
いいよ!

ボールを
前のかご
に入れちゃ
おう!

今度は斜め
向かいのか
ごに入れよ

カゴから出して
縄で運んじゃおう



☆サーキット場の完成☆

自分たちで考えた遊び楽し~



☆こんな遊びもできたよ☆

状況に応じて遊びに使える物を提供し、展開できるようにする。



小さいリング

輪投げ
みたい



ラップの芯を用意



遠い位置からだ点数が高くなるよ



かご



段ボール
ラグビーボー



かごに点数を

たくさん点
とるぞ～

この段ボール、何かに
使えないかな？

みんな
でトンネ
ル、くろ
う！

トンネルみたい



ガムテープを用意



フープと変形ボール
だと…



ボール運び



フープ回し



フープ

【実際の子どもの姿】

- ・一つ一つの用具に関心を持ち、それを使って遊びたいという意欲が子どもたちから感じられた。
- ・サーキットをするにあたり、どのように体を動かしたらいいのかと保育者からアイデアを求められると、戸惑う様子もあった。その場合、保育者と一緒に動きを考えながら参加した。
- ・遊びに慣れた頃に、新たな用具を出すと、友達と意見を出し合いながらルールのある遊びへと発展し、楽しんでいた。
- ・カゴに点数を貼るという保育者の働きかけにより、新たなルールを考え、より意欲的に遊ぼうとしていた。
- ・サーキット遊びの性質上、待つことで遊びがスムーズに進行することを実感し、楽しんでいた。また、この待ち時間を、次の自分の動きを考える事に使っていた。

【保育者の気づき】

- ・用具が増えていく度に関心を示していたが、自発的に行動する事が少なく、保育者からの声掛け等から遊びが発展していくことが多かった。
- ・準備運動の時点でサーキットでさせたい動きを取り入れていたら、子どもたちのアイデアが更に引き出せていたのではないかと思う。

【今後の課題】

- ・子ども達の活発な意見が少ない。→考えを引き出す話し合いの時間をもっと意識的にとる。